

警察雑誌検討一斑（十一訂稿）

—戦前期警察史の一齣—

（令和4（2022）年8月15日（月）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	2
1 はじめに	3
2 『警察監獄学会雑誌』（警察監獄学会刊）	3
3 『不眠不休警察眼』（警眼社刊）	3
4 『警察協会雑誌』（財警察協会刊）	5
5 『警察法律時論』（警察学会刊）	6
6 『警察春秋』（春秋社刊）	6
7 『自警』（財自警会刊）	7
8 『警察監獄学雑誌』（台北・小南清話会刊）	7
9 『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』（台湾警察協会刊）	8
10 『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）	8
（以下追加予定）	
〔附録〕	9
（1）『法制時報』（法制時報社刊）	9
（2）『日本警察新聞』（日本警察新聞社刊）	9
（3）『大日本消防協会雑誌』（大日本消防協会刊）	9
（4）『新警察』（新警察社刊）及び『公安情報』（社会運動研究会刊）	9
（参考1）『大霞』（大霞会刊）	11
（参考2）本HP別稿一覧	11
【附録】明治警察史コーナーHP項目一覧（抄）	12
【関連事項】	14

(補正経緯)

- (HP 初載) ・平成 21 (2009) 年 3 月 4 日 (水) 初稿作成
- ・平成 22 (2010) 年 10 月 14 日 (木) 改訂稿作成
 - ・平成 22 (2010) 年 12 月 7 日 (火) 再訂稿作成
 - ・平成 24 (2012) 年 6 月 26 日 (火) (三訂稿) 作成
 - ・平成 25 (2013) 年 3 月 7 日 (金) (四訂稿) 作成
 - ・平成 26 (2014) 年 6 月 15 日 (日) (五訂稿) 作成
 - ・平成 26 (2014) 年 7 月 3 日 (木) (六訂稿) 作成
 - ・平成 26 (2014) 年 9 月 7 日 (日) (七訂稿) 作成
 - ・平成 26 (2014) 年 11 月 19 日 (水) (八訂稿) 作成
 - ・平成 27 (2015) 年 3 月 22 日 (日) (九訂稿) 作成
 - ・令和 元 (2019) 年 6 月 18 日 (火) (十訂稿) 作成
(『警察法律時論』の件追加、その他全体にわたり一部補正)
 - ・令和 4 (2022) 年 8 月 15 日 (月) (十一訂稿) 作成
(レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。)

1 はじめに

明治このかた幾多の警察雑誌類が刊行されているが、戦前期の警察雑誌検討は我が警察史検討上興味ある分野であるといわれている。

については、以下に、その一部を紹介しておくこととする¹。

2 『警察監獄学会雑誌』（警察監獄学会刊）

・本 HP 別稿「警察監獄学会及び『警察監獄会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」（平成 22（2010）年 12 月 6 日（月）アップ）参照。（平成 22（2010）年 12 月 7 日（火）追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉

（参考）（平成 26 年 9 月 7 日〈日〉新設追加）

〈<http://www.jca-library.jp/kangokukyokaizassi/index.html>〉

〈<https://opac.tenri-u.ac.jp/opac/repository/metadata/3238/GKH022906.pdf>〉

3 『不眠不休警察眼』（警眼社刊）（平成 24 年 6 月 26 日（火）追加、平成 25 年 3 月 7 日（金）一部補正）

（参考）

・本 HP 別稿「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって—」（平成 20（2008）年 9 月 30 日アップ）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉

・本 HP 別稿「『警察協会雑誌』発行表」（平成 19（2007）年 12 月 15 日アップ）参照。

¹ 近時の警察雑誌の主なもの、『警察学論集』（立花書房）、『警察公論』（立花書房）、『警察時報』（警察時報社）、『月刊警察』（東京法令出版、創刊：昭和 58（1983）年 10 月 1 日）、『捜査研究』（東京法令出版、創刊：昭和 27（1952）年 4 月 5 日）、『季刊現代警察』（啓正社）等（他に、『The BEST』（日本公法）、『BAN』・『TOP』（教育システム）等あり。）である。このうち、『警察学論集』、『警察公論』はそのままであるが、諸般の事情とかで、『月刊警察』が平成 24（2012）年 3 月号から「昇任試験対策に特化した内容へと、紙面構成を一新・・・」（同年 2 月号「編集室発」）したものに変わり、また、『警察時報』は平成 24 年 5 月号をもって休刊（四、五年前にも一時期休刊時期あり。）とのことである。

〈<http://www.fujisan.co.jp/product/1281687268/b/761573/>〉 〈<http://www.k-jiho.com/pages/maituki/kyukan.html>〉

（平成 24 年 6 月 26 日追加、令和元年 6 月 18 日一部修正）

（追記）『月刊警察』は令和 2（2020）年 4 月号（第 439 号）、『季刊現代警察』は令和 3（2021）年 2 月刊行号（第 163 号）でもって、それぞれ休刊となった。感慨に堪えない次第である。

（令和 4（2022）年 8 月 15 日追加）

(平成 24 年 6 月 26 日 (火) 追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>

・本 HP 別稿「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ一統『警察協会雑誌』検討の一として」

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>

・本 HP 別稿「警察監獄学会及び『警察監獄会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>

『不眠不休警察眼』は、『警察協会雑誌』の前身ともいえるものである。同誌を創刊したのは、『警察協会雑誌』の刊行実務に当たった田山宗堯（1859～1917）であるが、同氏については、以前に上記諸稿において少しく言及したところである。

その後、近年では高橋裕教授（1969～）「明治中期の法律雑誌と大阪攻法会—梅謙次郎「日本民法和解論」に導かれて—」『法と政治』第62巻第1号Ⅱ（平成23年4月刊〈実際の刊行は6月との由〉）157～195（784～746）頁があり、「大阪攻法会会主田山宗堯」についても詳細に論じられている。

<http://kgur.kwansei.ac.jp/dspace/bitstream/10236/7690/1/62-1-2,%206.pdf>

『不眠不休警察眼』については、東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター（明治新聞雑誌文庫、原資料部）にかなりの号数が所蔵されている

<http://www.j.u-tokyo.ac.jp/lib/meiji/> が、CiNiiによれば、全国大学図書館での所蔵状況 <http://ci.nii.ac.jp/books/> は、下記のとおりである。

「警察眼書誌事項 警察眼 警眼社 1号（明25.7） -

タイトル別名不眠不休警察眼 タイトル読みケイサツガン

大学図書館所蔵 3件

京都大学 法学部 図書室1896-1897

4（20-22,24）,5（1-3）

東京大学 大学院法学政治学研究科 附属近代日本法政史料センター（明治新聞雑誌文庫

<http://www.meiji.j.u-tokyo.ac.jp/>）1892-1892;1894-1900

1,4-5;2（12-14）,3（9-24）,4（1-22,24）,5,6（1-10,12）,7（1-8,10-12）,8（1-9,11-12）,9,10（2-12）,11（1-6）

東北大学 附属図書館本館1893-1893;1894-1900

20,22-25;2（1-4,9-18）,4（11-14,16,18-24）,5-8,9（2-12）,10,11（1-8）」

なお、同誌表紙による目次については、下記を参照。

「資料種別 図書 請求記号 UP54-E10

タイトル 東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧. 第126巻（警察編）.

タイトルよみ トウキョウ ダイガク ホウガクブ フゾク メイジ シンブン ザッシ ブンコ
ショゾウ ザッシ モクジ ソウラン. 126.

出版事項 東京：大空社, 1997.5.

形態/付属資料 396, 35p； 27cm.

注記 背のタイトル: 明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧.

複製.

注記 索引あり.

内容細目 警察協会雑誌 (第440号-第528号) . 不眠不休・警察眼. 警察思潮.

ISBN 4-7568-0549-3 (set)

全国書誌番号 98052458

普通件名 雑誌

NDLC UP54

NDC (9) 027.5

」

いずれにせよ、『警察協会雑誌』の前身誌ともいえる『不眠不休警察眼』についても、これまた、今後検討が進捗することを望まれるところである。

4 『警察協会雑誌』 (財警察協会刊)

・本 HP 別稿「『警察協会雑誌』発行表」(平成 19 (2007) 年 12 月 15 日アップ) 参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>〉

・平成 25 (2013) 年 12 月に至り、警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成 25 年 12 月刊) が発行された。また、別に公益財団法人警察協会 HP 〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/>〉に HP 用「目次集」がアップされた。

(警察政策学会: 〈<http://www.asss.jp/>〉)

⇒ 〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>〉。

(平成 26 年 6 月 11 日追加)

・平成 26 (2014) 年 6 月警察政策学会管理運用研究部会(松尾庄一氏執筆)『警察協会雑誌にみる警察の歴史』(警察政策学会資料第 77 号、平成 26 (2014) 年 1 月〈マ〉刊。同年 5 月「まえがき」あり。) が発行された。(平成 26 年 6 月 11 日追加)

・平成 26 (2014) 年 8 月廣瀬権「『警察協会雑誌の謎』解明に向けた一歩」『警察学論集』第 67 巻第 8 号(平成 26 年 8 月 10 日刊) 97～114 頁が公表された。(平成 26 年 9 月 7 日追加)

・平成 26 (2014) 年 11 月警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会、平成 26 年 11 月 7 日刊) 刊行された。(平成 26 年 11 月 19 日追加)

・平成 26 年 7 月から同 27 年 2 月にかけて『警察協会雑誌』検討関連で下記松尾庄一氏の論稿が公表された。(平成 27 年 3 月 22 日追加)

・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 1 回 開化警察」『季刊現代警察』第 142 号(平成 26 年 7 月 10 日刊) 78～85 頁(連載開始)

・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 2 回 民衆警察」『季刊現代警察』第 143 号(平成 26 年 10 月 10 日刊) 74～81 頁

・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 3 回 国防警察」『季刊現代警察』第 144 号(平成 27 年 2 月 12 日刊) 64～71 頁

(参考)

- ・本 HP 別稿「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって—」(平成 20 (2008) 年 9 月 30 日アップ) (平成 22 (2010) 年 10 月 14 日 (木) 追加)
<<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>>
- ・本 HP 別稿「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」(平成 21 (2009) 年 3 月 1 日アップ) (平成 22 (2010) 年 10 月 14 日 (木) 追加)
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>>
- ・本 HP 別稿「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」(平成 22 (2010) 年 6 月 16 日 (水)) アップ) (平成 26 (2014) 年 9 月 7 日 (日) 追加)
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>>

5 『警察法律時論』(警察学会刊) (令和元 (2019) 年 6 月 18 日追加)

- ・明治 35 (1902) 年 1 月 10 日創刊、月刊 (毎月 10 日刊)、各号 100 頁前後か。最終発行号: 同年月日不明
- ・第 7 号 (明治 35 年 7 月 10 日刊) ~ 第 12 号 (明治 35 年 12 月 10 日刊)
- ・表紙裏に「警察法律時論ノ本領」、「警察法律時論記事要目」を掲載する。
- ・「警察法律時論記事要目」: (1) 時論、(2) 論説、(3) 雑録、・・・(16) 叙任辞令
- ・<<https://ci.nii.ac.jp/books/>> ⇒ <<https://ci.nii.ac.jp/ncid/AN10477572>>

6 『警察春秋』(春秋社刊) (平成 24 (2012) 年 6 月 26 日 (火) 一部補正、令和元 (2019) 年 6 月 18 日一部訂正)

- ・本 HP 別稿「『警察春秋』—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」(平成 24 (2012) 年 6 月 20 日 (水) アップ) 参照。
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf>>

(参考)

- ・「『警察春秋』 (本 HP 初載) 平成 21 (2009) 年 3 月 4 日初稿作成、平成 22 (2010) 年 10 月 14 日 (木) 改訂稿作成、平成 22 (2010) 年 12 月 7 日 (火) 再訂稿作成時点での掲載稿」再録

「『警察春秋』は、当今ではあまり知られていないが、例えば、鈴木哲太郎²『警察夜話』

² 鈴木哲太郎は、本『警察夜話』奥付では、昭和 18 (1943) 年 5 月時点で「東京市芝区愛宕警察署情報係主任」とある。同氏には、同じ警察関係のものとして、『警察春秋』(松華堂書店、昭和 15 年 10 月 16 日刊)があるが、それによれば、「大正 7 (1918) 年 11 月 9 日警視庁警察練習所に入り、警視庁巡查を拝命してからの警察生活二十有余年」(序文)、「警察官たる前地方の小さな新聞社に勤務」(2 頁)、「会計検査院の写字生」(40 頁)、「二十余年も前、茨城の水戸の新聞記者」(54 頁)等の経歴を有するとのことである。

(昭和書房、昭和 18 年 5 月 20 日刊) 中の「あの時分のことなど」(152 頁以下) では、「民間に於ける自警³といふ格で「警察春秋」なるものを発行してみた島山汀果山人⁴なる人がゐた。その編輯ぶりはたしかに際立つたもので、いつも澁刺としてみて、形式に泥まらず、嶄新なものならざれば採らず、奇警にして痛快なものだつた。しかしこの人、若くして病逝してしまつたのは惜しむべきことだつた。」(154 頁) とあつて、注目すべきものである。ただし、国立国会図書館に所蔵誌はなく、nacsis webcat 検索でも、所蔵機関はないようであり、現在まで実物を見るに至っていない。

しかるに、去る平成 21 (2009) 年 1 月末～2 月初めに、うち 6 冊が、「YAHOO! JAPAN オークション」(ヤフオク) に、下記のように、出品されていた(平成 21 年 3 月 1 日閲覧、同 2 日には既に削除か。なお、「オークファン」中で「警察春秋」参照。
<<http://aucfan.com/auview/yahoo/n67050243/>>) が、この僅かな例示からしても、同誌は、今後検討すべき警察雑誌の一つであると思われる。

「YAHOO! JAPAN オークション 出品年不明、1 月 27 日～2 月 1 日

「大正期◆「警察春秋」6 冊◆思想犯罪事件風俗他」 落札価格: 1,000 円」

・その後、平成年代末頃に国立国会図書館には下記 2 冊が収蔵されたようである。(令和元年 6 月 18 日追加)

冊子体、13×20 cm (変形版)、第 2 巻第 7 号(第 10 号、大正 14 年 7 月刊)、第 3 巻第 1 号(第 16 号、大正 15 年 1 月刊)

<<https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I028775000-00>>

7 『自警』(財自警会刊⇒(一財)自警会刊)

・本 HP 別稿「『自警』発行表(戦前期)」(平成 22 (2010) 年 4 月 17 日(土)アップ) 参照。(平成 22 (2010) 年 10 月 14 日(木)追加)

<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf>>

(参考)

・本 HP 別稿「有光金兵衛とは誰ぞ―「田村 豊氏著作目録」補遺―」(平成 21 (2009) 年 3 月 8 日アップ) 参照。(平成 26 (2014) 年 6 月 15 日(日)追加)

<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>>

・本 HP 別稿「植木鬼仏とは誰ぞ―警察川柳史検討― 一昭和戦前期警察史の一齣―」(平成 22 年 4 月 15 日(木)アップ)(平成 22 (2010) 年 12 月 7 日(火)追加)

<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>>

8 『警察監獄学雑誌』(台北・小南清話会刊)(平成 26 年 11 月 19 日追加)

³ 本稿 6 参照。警視庁自警会発行の雑誌、大正 8 (1919) 年 8 月創刊、現在に至る。Nacsis webcat <<http://webcat.nii.ac.jp/>> ⇒CiNii <<http://ci.nii.ac.jp/books/>> 参照。

⁴ 遺憾ながら現時点では詳細不明。今後検討すべき人物である。

・本 HP 別稿「明治 35（1902）年台北刊行の『警察監獄学雑誌』検討一斑―湯目補隆検討補遺―」（平成 22（2010）年 4 月 18 日（日）アップ）参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugaku.pdf>〉

9 『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』（台湾警察協会刊）（平成 26 年 11 月 19 日追加）

・『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』の全体内容については、中島利郎・林原文子編『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』（緑蔭書房、平成 10 年 8 月 25 日刊）参照。両誌は一時期台湾で復刻されるといわれたが、最終的には国立中央図書館台湾分館（現国立台湾図書館）所蔵本を基に、マイクロ資料「『台湾警察協会雑誌』第 1 号～第 149 号（大正 6 年～昭和 4 年）、『台湾警察時報』第 1 号（通巻第 150 号）～第 335 号（昭和 5 年～昭和 18 年。昭和 5 年より『台湾警察時報』に改名。欠号、第 326～328 号） 28 リール 16mm 国立中央図書館台湾分館員工消費合作社 2002 年刊（日本代理店）雄松堂」として刊行された。

・本 HP 別稿「『台湾警察協会雑誌』第 75 号（大正 12 年 8 月 25 日刊）の再発見について―『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』補遺― 一日本統治下台湾警察史の一齣―」（平成 27（2015）年 1 月 8 日（木）アップ）参照。（この分平成 27 年 3 月 22 日（日）追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saihakken.pdf>〉

10 『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）

・本 HP 別稿「『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表」（平成 22（2010）年 4 月 24 日（土）アップ）参照。（平成 22（2010）年 10 月 14 日（木）追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf>〉

・緑蔭書房より近く『警務彙報』の総目次刊行予定とのこと（平成 26（2014）年 6 月 15 日（日）追加）

・レファレンス事例紹介（令和元年 6 月 18 日追加）

〈http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000086358〉

（以下追加予定）

〔附録〕

(1) 『法制時報』 (法制時報社刊)

・本 HP 別稿「『法制時報』とは何ぞ」(平成 22 (2010) 年 5 月 4 日 (火) アップ) 参照。(平成 22 (2010) 年 10 月 14 日 (木) 追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf>〉

(2) 『日本警察新聞』(日本警察新聞社刊) (平成 26 (2014) 年 6 月 15 日 (日) 追加)

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1577129>〉

(3) 『大日本消防協会雑誌』(大日本消防協会刊) (平成 26 (2014) 年 9 月 7 日 (日) 追加)

・『大日本消防協会雑誌』創刊号(大日本消防協会、明治 36 (1903) 年 7 月刊。創刊時の編輯監督は戸水寛人博士(1861~1935))~第 71 号(明治 44 (1911) 年 10 月刊)(復刻版: 緑蔭書房、平成 25 (2013) 年 10 月刊(全 7 巻、別巻、64、65 号欠、第 55 号と第 56 号の間に二年余りの断絶あり。))

〈<http://ci.nii.ac.jp/ncid/AN00322252>〉

〈http://www.amazon.co.jp/%E6%9C%AC-%E5%A4%A7%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%B6%88%E9%98%B2%E5%8D%94%E4%BC%9A/s?ie=UTF8&page=1&rh=n%3A465392%2Cp_27%3A%E5%A4%A7%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%B6%88%E9%98%B2%E5%8D%94%E4%BC%9A〉

(4) 『新警察』(新警察社刊) 及び『公安情報』(社会運動研究会刊) (平成 27 年 3 月 22 日 (日) 追加)

・先般たまたま戦後初期発行の警察雑誌『新警察』三冊(第 4 巻第 11 号(昭和 24 年 11 月刊)、第 5 巻第 2 号(昭和 25 年 2 月刊) 第 5 巻第 4 号(昭和 25 年 4 月刊))を見る機会あり。

・上記『新警察』三冊奥付に見る発行人伊藤榮二氏とは誰ぞ。⇒下記『公安情報』第 489 号(最終号、平成 6 (1994) 年 6 月刊) 所載関之氏(いたる、1903~2001) 稿「所感」参照。⇒戦後伊藤榮二氏御先代が新警察社創業か?。⇒昭和 21 年 9 月同氏『新警察』(新警察社刊) を創刊か?。⇒昭和 23 年時点の発行人は伊藤榮二氏 ⇒昭和 28 年 3 月休刊 ⇒『日共情勢速報』創刊 ⇒昭和 28 (1953) 年『公安情報』に改称 ⇒平成 6 (1994) 年 6 月休刊

* 『新警察』国立国会図書館所蔵分 <<http://www.ndl.go.jp/>>

資料種別 雑誌 (マイクロ) [マイクロ資料]. タイトル 新警察

出版事項 [東京]: 国立国会図書館 (製作)

形態/付属資料 マイクロフィルム リール 3 巻 ; 35mm.

原資料の出版終了年: 1953. 原資料は 8 巻 3 号限り廃刊.

注記 原資料の出版事項: 東京 : 新警察社. 団体著者標目 新警察社

所蔵情報 3 巻 2 号 (昭 23.2) -4 巻 7 号 (昭 24.7) , 6 巻 9 号 (昭和 26 年 10 月号) ,
7 巻 1 号 (1952.1) -8 巻 3 号 (昭 28.3) (欠多し)

* 昭和 28 (1953) 年 3 月休刊 ⇒ 同年 5 月 『日共情勢速報』 を創刊、移行か

* 『新警察』国立国会図書館憲政資料室所蔵分 <<http://www.ndl.go.jp/>>

資料種別 雑誌 (マイクロ) [マイクロ資料].

タイトル 新警察. [1 巻 1 号 (1946 年 9 月) -4 巻 10 号 (1949 年 10 月)]

形態/付属資料 マイクロフィッシュ.

プランゲ文庫. ゲラあり. 検閲あり.

注記 原資料の出版事項: 東京 : 新警察社.

所蔵情報 1 巻 1 号 (1946 年 9 月) ~4 巻 10 号 (1949 年 10 月) (欠:3 巻 7 号)

・例えば『新警察』上記第 4 巻第 11 号、第 5 巻第 2 号、第 5 巻第 4 号に万暦赤繪「警察
主要人物素描一國警本部の課長たち」、同「同一お堀端のお歴々たち」あり。例えば第 5
巻第 2 号 22 頁「石井 [栄三、1907~1994] 東京管区本部長」、第 5 巻第 4 号 19 頁「後
藤田正晴東管刑事部長 [1914~2005]」等掲載。

・著者「万暦赤繪」とは誰ぞ?。⇒同誌掲載「警察時評」の著者「城南隠士」と併せ今後の
検討課題か。この「城南隠士」とは著名な「城南隠士」その人か?

・その後警察関係の書籍を出した「万歴書房」とはなにか関係あるのか。なお、「万暦赤繪」
の抑々については下記参照。(この項: 令和元年 6 月 18 日追加)

<<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%87%E6%9A%A6%E8%B5%A4%E7%B5%B5>>

(「万暦赤繪」)

・新警察社は単行本もかなり刊行 ⇒国立国会図書館 HP <<http://www.ndl.go.jp/>> 参照。⇒
「近代デジタルライブラリー」(⇒国立国会図書館デジタルコレクション) では現在三冊
閲覧可能。

* 昭和 28 年 5 月 『日共情勢速報』創刊 ⇒昭和 29 年の第 12 集より『公安情報』と改称、
発行。

* 『公安情報』 <<http://www.ndl.go.jp/>>

タイトル 公安情報 / 責任表示 社会運動研究会 編.

巻次・年月次 [12 集] (昭和 29 (1954) 年 9 月) ~489 集 (最終号、平成 6 (1994) 年
6 月。同号に三輪良雄 (1913~2003)、関之 (いたる、1903~2001)、川島廣守 (1922
~2012) 各氏の送別辞及び伊藤榮二氏「終刊の辞」あり。)

出版事項 東京 : 社会運動研究会, [1954]-1994. 形態/付属資料 冊 ; 21cm.

刊行頻度 月刊 注記 以後廃刊. 団体著者標目 社会運動研究会.

改題情報 「日共情勢速報」の改題.

所蔵情報 60・61集(昭和33(1958)年9月)～489集(平成6(1994)年6月)(欠:
66集) 発行人: 伊藤榮二

・昭和28(1953)年創刊。⇒平成6(1994)年6月休刊。

(参考1) 『大霞』(大霞会刊)

・本HP別稿「『大霞』発行表」(平成20(2008)年7月27日アップ)参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf>〉

(参考2) ・本HP別稿一覧

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 15 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>>
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>>
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>>
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>>
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>>
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>>
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>>
- ・「田村豊氏著作目録」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>>
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>>
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>>
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>>
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>>
- ・「『警察協会雑誌』発行表」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>>
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>>
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>>
- ・「北京等駐在内務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>

- ・『大霞』発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf)
- ・『自警』発行表（戦前期）
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf)
- ・『警察春秋』とは何ぞ（改訂稿）—大正・昭和戦前期警察史の一齣—
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf)
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf)
- ・『法制時報』とは何ぞ（五訂稿）—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—（本稿）
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf)
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf)

【関連事項】（令和4年8月15日追加）

- ・法制史学会：[〈https://www.jalha.org/〉](https://www.jalha.org/)
- ・国立国会図書館：[〈https://www.ndl.go.jp/〉](https://www.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館デジタルコレクション [〈https://dl.ndl.go.jp/〉](https://dl.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
[〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
[〈https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/〉](https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/)
- ・CiNii：[〈https://ci.nii.ac.jp/〉](https://ci.nii.ac.jp/) ⇒ [〈https://cir.nii.ac.jp/〉](https://cir.nii.ac.jp/)（**【[2022] 4/18 更新】**CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、[〈https://ci.nii.ac.jp/books/〉](https://ci.nii.ac.jp/books/)

（了）